

独立行政法人北方領土問題対策協会 理事長メッセージ

まず初めに、新型コロナウイルス感染症の厳しい状況が続いていますが、貴県民会議においても歩みを止めることなく北方領土返還要求運動を推進するため、多大な御尽力をいただいております皆様方の御熱意と御労苦に対し、心から敬意と感謝を申し上げます。



当協会においても、これまで以上に柔軟に発想を転換し、新しい試みができる好機と捉え、多様な取組みを行っているところです。

オンラインを積極的に活用した取組みを推進していることや、読者数が8万7千人に到達し大きく成長した北方領土イメージキャラクター「エリカちゃん」、「エリオくん」のツイッター等によるSNSの情報発信を強化し全国の様々な取組みの見える化を図るなど、まさに「新型コロナウイルス感染症に負けない啓発事業」にも取り組んでいます。

また、新たな取組みとして、高齢化が一層進む元島民等が所有している貴重な資料を収集し、後世に継承することは急務かつ重要であるとの認識の下、今年度から北方領土に関する資料の収集事業を行っています。

収集した資料は、展示等に活用することで北方領土問題に対する国民一般の理解の促進を図ることを考えています。

北方四島交流事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により事業の中止を余儀なくされていますが、感染症対策のために交流等使用船舶「えとぴりか」の改修工事や感染予防装備品の調達を行うなど、事業がいつ再開されても対応できるよう準備を進めているところです。

引き続き、貴県民会議を始め全国の皆様と共に手を携え、「北方四島の返還を求める」国民の一致した世論の結集を図り、北方四島の早期返還実現に向けて共に頑張りましょう。

令和4年2月吉日

独立行政法人北方領土問題対策協会

理事長 諸星 衛